

人体機能学Ⅱ		講義	教授 西川 彰
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門基礎科目 教職科目	科目ナンバリング	12311104 12531206

1. 授業のねらい・概要

医療専門職を志す者にとって、人体の機能学（生理学）は最も基盤となる学問の一つである。この授業では、発育期～高齢期並びに競技者の生理学的特徴を学ぶことから始め、その後は、感覚の機能、体液の循環機能、消化・吸収および呼吸の仕組み、排泄・生殖・内分泌機能について学習する。また、単元ごとに該当する演習問題にも取り組むことで、将来の資格試験合格に向けた知識の定着も図る。

2. 授業の進め方

プレゼンテーションソフトを用いたスライドにより関連する写真やイラストを呈示しながら、さらに板書を組み合わせた講義形式で授業を進めていく。さらに、重要な人体の働きについてはその機能を図示し、生理学的特徴を記入した「人体機能学レポート」を作成し提出課題とする。

3. 授業計画

1. ガイダンス 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化（成長に伴うからだや運動能力の発達、競技者の生理学的特徴・変化） 2. 高齢者の生理学的特徴・変化（細胞・組織の加齢現象、高齢者の生理的特徴、運動と加齢） 3. 感覚の生理①（感覚の一般的な特性、特殊感覚） 4. 感覚の生理②（体性感覚、内臓感覚、痛覚） 5. 循環①（心臓） 6. 循環②（血管、リンパ系、循環調節） 7. 消化と吸収①（消化器系の構成とはたらき） 8. 消化と吸収②（食物の消化と吸収、各栄養素の消化と吸収）	9. 呼吸の生理①（呼吸器の構造、換気） 10. 呼吸の生理②（ガス交換と運搬、呼吸周期の調節） 11. 尿の生成と排泄①（腎臓の構造と機能、尿の生成） 12. 尿の生成と排泄②（腎血流量、排尿、腎臓による体液の調節） 13. 生殖（性分化、男性生殖器、女性生殖器、妊娠と分娩） 14. 内分泌（内分泌腺とホルモン、それぞれの内分泌腺とホルモンのはたらき、ホルモンによる内部環境の恒常性維持） 15. まとめ
--	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業で学んだ重要語句や図表などをまとめた「人体機能学レポート」を作成した上で、それを基に単元別の演習問題にも取り組み毎回の授業に臨むこと（1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートおよび演習問題については添削、採点を行った上で返却する。また、定期試験については正答と問題の要点を希望者に配布する。

6. 授業における学修の到達目標

本授業では、生理学的な特徴をただ暗記するだけでなく、その機能と病態との関連性などの統合的な理解が得られることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

提出課題（レポートおよび演習問題）（約30%程度）並びに定期試験（期末試験）の結果（約70%程度）により総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

全国柔道整復学校協会 監修、『生理学 改訂第4版』, 南江堂, 2020 年
その他の参考資料は, 必要に応じて授業中に紹介または配布する。

9. 受講上の留意事項

毎回の授業時にはテキスト並びに配布プリントを必ず持参すること。
講義回数の 3 分の 1 以上を欠席した場合は, 定期試験の受験資格を失うこととする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は, 人体解剖トレーニングセミナーにおける実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。